

2026 年度九州・西日本支部若手イベント・支部研究成果発表会のご案内

低温工学・超電導学会 九州・西日本支部では、学生・若手研究者が研究データの読み方と原因を切り分けるための考え方を学び、支部内の研究交流を深める機会として、若手イベント（学生企画）および支部研究成果発表会を開催します。第1部は、テーマを「実験・解析事例から学ぶデータ解釈と要因の絞り込み」として、ケース討論を行います。過去に解釈に迷ったものの、現在は一定の結論に至っている実験・解析事例を使い、対面で行います。必要最小限の条件とデータから観察事実を整理し、原因仮説と確認すべき事項を研究室混成班で検討した後、実際の検証過程と結論を共有します。第2部は、大学院生を中心とする支部研究成果発表会を対面・オンラインのハイブリッドで行います。

日 時：2026 年 10 月 31 日（土）10:00～16:05 頃（予定）

開催方法：第1部は対面、第2部の発表会は対面とオンラインのハイブリッド

場 所：鹿児島大学南九州・南西諸島域イノベーションセンター 産学交流プラザ 2F セミナー室

<https://www.krcc.kagoshima-u.ac.jp/access-2/>

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-40

第2部（午後の部）は、オンライン参加も可能

プログラム（予定）

10:00～10:05	開会の挨拶
第1部	若手イベント（対面）
10:05～11:30	実験・解析事例から学ぶデータ解釈と要因の絞り込み～解決済み事例を用いたケース討論～ （詳細は次ページ）
11:30～13:00	昼休み
第2部	支部研究成果発表会（ハイブリッド）
13:00～16:00	
16:00～16:05	閉会の挨拶

※開始・終了時刻および各セッションの時間は、参加者数・発表件数等により変更する場合があります。

※第1部の事例候補募集については次ページをご覧ください（10月19日締切）。

申込方法：3 ページ目の参加申込書にご記入の上、下記事務局宛にお送り下さい。

・低温工学・超電導学会 九州・西日本支部 事務局（九州大学 木須研究室内）

E-mail：jcryo_qw@sc.kyushu-u.ac.jp

申し込み〆切及び成果発表会予稿原稿〆切：2026 年 10 月 23 日（金）

予稿原稿テンプレートおよび提出先：最終ページ参照

参加費：学生：無料 一般（正会員）1,000 円 一般（非会員）2,000 円

支払い方法：PayPal（申込者には支払い用の URL を別途送付）

※PayPal による支払いが困難な場合は銀行振込も対応できますので、その際にご連絡ください。

・世話人：川越明史（鹿児島大）、寺西亮（九大）、木内勝（九工大）

・問合せ先：鹿児島大学 川越明史

E-mail：kawagoe@eee.kagoshima-u.ac.jp

前日の 10/30(金) 午後に第2回 材料研究会／九州・西日本支部合同研究会も鹿児島大学郡元キャンパスで開催されます。併せてのご参加をお待ちしています。

第1部 若手イベントの概要・事例候補の募集

- ・題材は、過去に解釈に迷ったものの、現在は検証過程と結論まで説明できる実験・解析事例とします。
- ・最初は、実験装置・方法・主要条件、または解析モデル・主な仮定・解析条件と、代表的なデータのみを示します。原因候補、確認済み事項、結論は最初から示しません。
- ・参加者は、データから直接言えること、考えられる原因仮説、原因を切り分けるために確認すべき事項を話合います。
- ・質問に応じて、測定原理、センサー出力から物理量への変換、校正・処理方法、詳細条件、補足データ等を段階的に提示します。
- ・最後に、事例提供者が実際の検証過程、判断根拠および現在の結論を説明します。
- ・現在進行中の未解決課題や、今後の研究方針に直結する相談は扱いません。事例は、参加者への提示について研究室責任者（指導教員等）の確認が得られたものを使用します。
- ・はじめに共通事例で進め方を確認し、その後、参加人数と提出事例数に応じて、全体または班ごとに討論します。
- ・各研究室から、可能であれば1件程度の候補事例をご提案ください。事例提案時点では、当日用の完成資料は不要です。使用をお願いする事例については、後日、既存資料を基に当日用資料の準備をご相談します。

事例候補提出フォーム：

<https://forms.cloud.microsoft/r/cDQgteFQEj>

事例候補提出期限：2026年10月19日（月）

※事例候補の提出は、参加申込みとは別です。

2026 年度 九州・西日本支部 若手イベント 参加申込書

社・機関名						
代表連絡者氏名			代表者勤務先所在地 〒			
事例候補提出フォーム： 提出済み・提出予定・提出なし						
参加者（代表連絡者を含む）	第 1 部 参加	第 1 部 事例説明	第 2 部 参加	第 2 部 講演発表	第 2 部 成果発表会講演題目	前夜の 懇親会
氏名（フリガナ）： E-mail: （正会員・学生会員・入会申込）	現地参加 不参加	担当	現地参加 オンライン参加 不参加	あり なし		参加 不参加
氏名（フリガナ）： E-mail: （正会員・学生会員・入会申込）	現地参加 不参加	担当	現地参加 オンライン参加 不参加	あり なし		参加 不参加
氏名（フリガナ）： E-mail: （正会員・学生会員・入会申込）	現地参加 不参加	担当	現地参加 オンライン参加 不参加	あり なし		参加 不参加
氏名（フリガナ）： E-mail: （正会員・学生会員・入会申込）	現地参加 不参加	担当	現地参加 オンライン参加 不参加	あり なし		参加 不参加
氏名（フリガナ）： E-mail: （正会員・学生会員・入会申込）	現地参加 不参加	担当	現地参加 オンライン参加 不参加	あり なし		参加 不参加
氏名（フリガナ）： E-mail: （正会員・学生会員・入会申込）	現地参加 不参加	担当	現地参加 オンライン参加 不参加	あり なし		参加 不参加

会員の種別、第 1 部の参加、事例説明の担当、第 2 部の発表の有無・参加場所、前夜の懇親会参加の有無について、○で囲んでください。

入会申込を○で囲っていただければ、入会申込書を送付いたします

懇親会について

前日の午後に行なわれる第 2 回 材料研究会／九州・西日本支部合同研究会と合同で、10 月 30 日（金）に懇親会を開催します。詳細については、参加申し込み者宛に後日連絡いたします。

講演題目 Title

九大 太郎、伊都 一郎（九大 寺西研）；熊大 次郎、黒髪 花子（熊大 藤吉研）；九工大 三郎（九工大 小田部研）

KYUDAI Taro, ITO Ichiro (Kyushu Univ. Teranishi Lab.); KUMADAI Jiro, KUROKAMI Hanako (Kumamoto Univ. Fujiyoshi Lab.); KYUKODAI Saburo (Kyushu Inst. Technol. Otabe Lab.)

E-mail: kyudai@abcde.kyushu-u.ac.jp

1. はじめに(例です. 番号・項目など本文の形式は自由です)

本文。各行 47～49 文字程度（原則として 10 ポイント、A4:1 ページで作製してください。本文の形式は自由です。この雛形のように見出しをつけてもつけなくても構いません。また、見出しをつけた場合もその見出しの項目名に決まりはありません。「はじめに」、「実験方法」、「結果と考察」のような見出しを付けてもよいですし、付けなくても良いです。予稿は 1 講演 1 ページに限られています。ページに収まらない場合は行間を減らし、1 行あたりの文字数を増やしても結構です。また、フォントサイズを小さくしても OK です。等倍で印刷されますので小さすぎるフォントサイズに注意してください。

2. 提出方法

予稿原稿を準備したのち、pdf ファイルとして、下記のメールアドレス宛にご提出ください。

メールアドレス：kawagoe@eee.kagoshima-u.ac.jp

メールの件名：支部成果発表会原稿

提出〆切：2026 年 10 月 23 日(金)

3. 著者について

著者の所属は研究室名まで記載してください。また、複数の研究機関にわたる場合は機関ごとに区別してください。なお、発表者に下線を入れてください。

4. 図表について

図や表はなるべく英文を使って記入してください。(Fig.1)

参考論文

[1] T.Kyudai, *et. al.*, Jpn. J. Appl. Phys., Vol. 4X, No. XB, pp.40XX–40XX (200X)

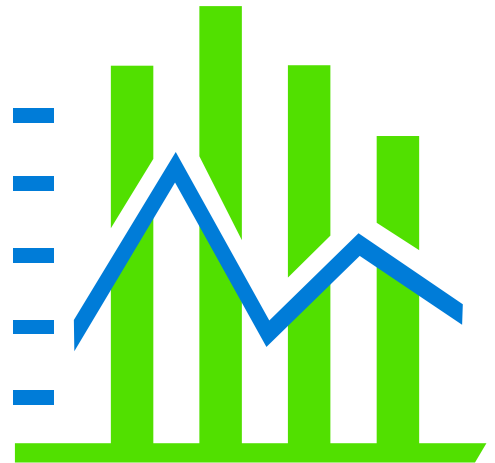


Fig.1 Figure caption should be written in English